# 2025年度 授業シラバスの詳細内容

| ○基本情報 | | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 文章表現（Sentence Expression） | | |
| ナンバリングコード | B10507 | 大分類 / 難易度<br>科目分野 | 教養教育科目 / 基礎レベル |
| 単位数 | 2 | 配当学年 / 開講期 | 1 年 / 後期 |
| 必修・選択区分 | 必修<br>※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。 | | |
| 授業コード | A034361 | クラス名 | 経営経済学部 |
| 担当教員名 | 渕上　千香子 | | |
| 履修上の注意、<br>履修条件 | 課題はword等で提出することになるので、必ずパソコンを持参してください（その他参照）。 | | |
| 教科書 | なし | | |
| 参考文献及び指定図書 | 二通信子 他(2009)『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』. 井下千以子(2019)『思考を鍛えるレポート論文作成法 [第3版] 』. 西山春文 他(2020)『実践　文章表現』. 石黒圭(2012)『論文・レポートの基本』. 石井一成(2011)『ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文 | | |
| 関連科目 | 社会参画入門、社会参画実習1、基礎学力講座（国語）、英語1・2、情報リテラシー1・2 | | |

| ○基本情報 | | |
|---|---|---|
| 授業の目的 | 　さまざまな媒体でさまざまな人が発信することが一般的となった現在、「伝える力」は一層重要になったといえます。場面や状況に応じて「伝える力」を発揮していきたいところですが、日本語では伝える際に場面に応じて使用する表現や文体が異なるなど難しさもあります。皆さんは、大学生活ではレポート・卒業論文・エントリーシート、社会生活では企画書・報告書など書き言葉の文章で伝える機会も増加します。本授業は、大学生活や社会生活で必要になる書き言葉の文章で伝える方法（文章表現方法）を身につけることを目的とします。 | |
| 授業の概要 | 　本授業では、文章表現知識の学習、文章の作成に取り組むことで文章表現方法を身につけます。第1回はこの科目のオリエンテーションを行います。第2回から第5回まで自己PR文について学習します。第6回はメールについて学習します。第7回から第１５回までレポートの書き方について学習します。各学習において適宜グループワーク等の活動を取り入れます。 | |
| 授業の運営方法 | （1）授業の形式 | 「講義形式」 |
| | （2）複数担当の場合の方式 | 「複数クラス方式」 |
| | （3）アクティブ・ラーニング | 「該当なし」 |
| 地域志向科目 | 該当しない | |
| 実務経験のある教員による授業科目 | 該当しない | |

| ○成績評価の指標 | | ○成績評価基準（合計100%） | | |
|---|---|---|---|---|
| 到達目標の観点 | 到達目標 | テスト（期末試験・中間確 | 提出物（レポート・作品等） | 無形成果（発表・その他） |
| 【ディプロマ・ポリシー①】 | 大学・社会・地域で活動するために必要になる、自己PR・メール・レポートなどの文章の書き方を理解し、説明することができる。 | | 30% | |
| 【ディプロマ・ポリシー②】 | 大学・社会・地域で活動するために必要になる、自己PR・メール・レポートなどの文章を書くことができ、その文章で他者に自身の意見などを伝えることができる。 | | 30% | |
| 【ディプロマ・ポリシー③】 | 文章資料・数値データなどから自身を取り巻く現状を把握し、それらを基に議論を展開することができる。 | | 30% | 10% |

※教養教育科目及び教職科目については大学DP、専門科目については各学部DPに準じています。

| ○成績評価の補足（具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法） |
|---|
| 取り組みの内容により総合的に評価します。達成水準の目安は以下の通りです。<br>[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。<br>[Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。<br>[Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。<br>[Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。<br>課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。 |

| ○その他 |
|---|
| ・課題提出はword等のソフトを使用し、オンライン上で行います。パソコンを必ず持参してください。<br>　※活動によってはパソコンがないと参加できない場合もあります。その場合、パソコンを持参していないと欠席となる可能性もあります。<br>・必要に応じて、学習支援サイト等を使用する場合があります。 |

# 2025年度 授業シラバスの詳細内容

| ○授業計画 | 科 目 名 | 文章表現（Sentence Expression） | 授業コード | A034361 |
|---|---|---|---|---|
| | 担当教員 | 渕上　千香子 | | |

**学修内容**

| | | |
|---|---|---|
| **1. ガイダンス**<br>この授業のオリエンテーションを行います。授業の進め方、出欠の取り方、遅刻・早退の取り扱い、質問の受け付け、成績評価の方法等について確認します。 | | |
| **予習** | シラバスを熟読してください。 | 約2時間 |
| **復習** | 授業の方法、成績評価の方法等をふりかえってください。 | 約2時間 |
| **2. メールの書き方**<br>社会人のメールの書き方について学習します。実際にメールを送信します。 | | |
| **予習** | 事前に指示した予習課題（データ読み取り，文章作成等）に取り組んでください。 | 約2時間 |
| **復習** | 授業中に提示された課題（文章作成等）を締め切りまでに提出してください。 | 約2時間 |
| **3. 自己PR文：文章を書くときの言葉遣い**<br>自己PR文を書く際の言葉遣いや単語選択について学習します。 | | |
| **予習** | 事前に指示した予習課題（データ読み取り，文章作成等）に取り組んでください。 | 約2時間 |
| **復習** | 授業中に提示された課題（文章作成等）を締め切りまでに提出してください。 | 約2時間 |
| **4. 自己PR文：自己体験の書き方書き言葉**<br>自己体験の書き方につて学習します。特に，「感想」と「体験・事実」を書き分けられるようになることを目指します。 | | |
| **予習** | 事前に指示した予習課題（データ読み取り，文章作成等）に取り組んでください。 | 約2時間 |
| **復習** | 授業中に提示された課題（文章作成等）を締め切りまでに提出してください。 | 約2時間 |
| **5. 自己PR文：自己体験とPRポイントの結び付け**<br>自己体験とPRポイントを結びつけ，自己PR文の骨子を作ります。 | | |
| **予習** | 事前に指示した予習課題（データ読み取り，文章作成等）に取り組んでください。 | 約2時間 |
| **復習** | 授業中に提示された課題（文章作成等）を締め切りまでに提出してください。 | 約2時間 |
| **6. 自己PR文の提出**<br>第2回～第4回の講義内容を踏まえて，自己PR文を作成し，提出します。 | | |
| **予習** | 事前に指示した予習課題（データ読み取り，文章作成等）に取り組んでください。 | 約2時間 |
| **復習** | 授業中に提示された課題（文章作成等）を締め切りまでに提出してください。 | 約2時間 |
| **7. レポート（PREP型）：レポートの文体と書き言葉**<br>PREP型レポートで使用する文体や言葉遣いについて学習します。 | | |
| **予習** | 事前に指示した予習課題（データ読み取り，文章作成等）に取り組んでください。 | 約2時間 |
| **復習** | 授業中に提示された課題（文章作成等）を締め切りまでに提出してください。 | 約2時間 |
| **8. レポート（PREP型）：意見と事実，説明文，要約**<br>意見の書き方と事実の書き方について学習します。意見と事実を意図的に書き分けられるようになることを目指します。また，説明文の書き方について学習します。 | | |
| **予習** | 事前に指示した予習課題（データ読み取り，文章作成等）に取り組んでください。 | 約2時間 |
| **復習** | 授業中に提示された課題（文章作成等）を締め切りまでに提出してください。 | 約2時間 |


| ○授業計画 | 科 目 名 | 文章表現（Sentence Expression） | 授業コード | A034361 |
|---|---|---|---|---|
| | 担当教員 | 渕上　千香子 | | |

**学修内容**


| | | |
|---|---|---|
| **9. レポート（PREP型）：データの読み取り**<br>PREP型レポートの論拠になるデータの読み取りを行います。 | | |
| **予習** | 事前に指示した予習課題（データ読み取り，文章作成等）に取り組んでください。 | 約2時間 |
| **復習** | 授業中に提示された課題（文章作成等）を締め切りまでに提出してください。 | 約2時間 |
| **10. レポート（PREP型）：文章の形式，引用の方法，パラグラフライティング**<br>レポートの型（PREP型）について学習します。 | | |
| **予習** | 事前に指示した予習課題（データ読み取り，文章作成等）に取り組んでください。 | 約2時間 |
| **復習** | 授業中に提示された課題（文章作成等）を締め切りまでに提出してください。 | 約2時間 |
| **11. レポート（序論本論結論型）：序論本論結論型の導入**<br>第7回～第9回の講義内容を踏まえて，PREP型レポートを作成し，提出します。 | | |
| **予習** | 事前に指示した予習課題（データ読み取り，文章作成等）に取り組んでください。 | 約2時間 |
| **復習** | 授業中に提示された課題（文章作成等）を締め切りまでに提出してください。 | 約2時間 |
| **12. レポート（序論本論結論型）：とデータの読み取りと本論の書き方**<br>序論本論結論型について簡単に学習して，期末レポートで使用するデータの読み取りを行います。 | | |
| **予習** | 事前に指示した予習課題（データ読み取り，文章作成等）に取り組んでください。 | 約2時間 |
| **復習** | 授業中に提示された課題（文章作成等）を締め切りまでに提出してください。 | 約2時間 |
| **13. レポート（序論本論結論型）：再反論と序論の書き方**<br>序論本論結論型について学習して，序論・本論・結論の文章を書きます。 | | |
| **予習** | 事前に指示した予習課題（データ読み取り，文章作成等）に取り組んでください。 | 約2時間 |
| **復習** | 授業中に提示された課題（文章作成等）を締め切りまでに提出してください。 | 約2時間 |
| **14. レポート（序論本論結論型）：結論の書き方参照文献**<br>文中での文献の引用方法，参照文献の書き方について学習します。 | | |
| **予習** | 事前に指示した予習課題（データ読み取り，文章作成等）に取り組んでください。 | 約2時間 |
| **復習** | 授業中に提示された課題（文章作成等）を締め切りまでに提出してください。 | 約2時間 |
| **15. 期末レポートの提出と全体のまとめ**<br>期末レポートの提出と，これまでの講義のまとめを行います。 | | |
| **予習** | 事前に指示した予習課題（データ読み取り，文章作成等）に取り組んでください。 | 約2時間 |
| **復習** | 授業中に提示された課題（文章作成等）を締め切りまでに提出してください。 | 約2時間 |
| **16. なし** | | |
| **予習** | | |
| **復習** | | |